

環境活動レポート

＜エコアクション21＞

《第39期》

【2007.10.01～2008.09.30】

2008年10月01日
中島精工株式会社

1 環境方針

《基本理念》

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行ないます。

《基本方針》

- (1) 当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2) 全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3) 環境関連の法律、規制、条例及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4) エネルギー・廃棄物等を削減し、また、分別を徹底することによる再資源化を推進します。
- (5) この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

2004年6月1日

代表取締役 中島 洋衛



2. 会社概要

名 称	中島精工株式会社
代表者名	代表取締役 中島 洋衛
設 立	昭和44年10月
資本金	1,000万円
売上高	45,800万円(第39期(2007.10~2008.09)実績)
所在地	〒387-0001 長野県千曲市大字雨宮926-1 TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2564
従業員数	24名
事業内容	TN液晶表示(LCD)用リードフレームを中心とした、精密電子部品の技術開発から量産まで一貫して手がけています。特に高い信頼性が要求される車載用LCDのリードフレーム分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。 また、当社独自の製造装置は優れた生産技術との融合により、無人運転を実現しています。
営業品目	LCD用リードフレーム、HIC用リードフレーム
環境管理責任者	管理部 課長補佐 中島 高広

事業規模

	第36期	第37期	第38期	第39期
売上額	44,100万円	54,300万円	49,100万円	45,800万円
従業員数	23人	23人	23人	24人
延べ床面積	1,038㎡	1,038㎡	1,038㎡	1,783㎡

3. 環境目標とその実績

(1) 中長期及び第40期目標(対39期比)

管理項目	第39期実績	第40期目標	第41期目標
電力使用量(kw)	259,424	256,830	255,533
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	98,062.27	97,081.74	96,591.47
削減率(%)	—	-1.0	-1.5
灯油使用量(ℓ)	1,333	1,320	1,313
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	3,321.74	3,289.35	3,271.90
削減率(%)	—	-1.0	-1.5
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	1,274.1	1,261	1,255
削減率(%)	—	-1.0	-1.5
水道使用量(m ³)	229.0	226.7	225.6
削減率(%)	—	-1.0	-1.5

(2) 第39期環境目標とその実績(対38期比)

管理項目	第38期実績	第39期目標	第39期実績
電力使用量(kw)	273,598	270,862	259,424
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	103,420.04	102,385.84	98,062.27
削減率(%)	—	-1.0	-5.2
灯油使用量(ℓ)	2,846	2,818	1,333
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	7,092.03	7,022.26	3,321.74
削減率(%)	—	-1.0	-53.2
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	1,632	1,616	1,274
削減率(%)	—	-1.0	-21.9
水道使用量(m ³)	138.0	162	229.0
削減率(%)	—	17.4	65.9

4. 環境活動計画の内容

(1) 電力消費量の削減

1. 昼休みの照明は、必要最小限にする
2. エアコン使用時間・温度管理の徹底
3. 定期的なエアコンのフィルター清掃(冷暖房効率アップ)
4. 電気ストーブの使用頻度削減

(2) 灯油使用量の削減

5. 石油ストーブの温度管理の徹底

(3) 廃棄物排出量の削減

6. 社内文書の電子化(印刷物削減)
7. ゴミの分別の徹底(リサイクル促進)
8. 個人で持ち込んだゴミの持ち帰りの徹底
9. 副資材のリサイクル化の促進

(4) 水道使用量の削減

10. 手洗い中の止水の徹底

(5) その他

11. ウォームビズの促進

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) 電力使用量

当社は、EA21取り組み当初より生産設備に使用される電力の占める割合が多いとの理由から、プレス機の打ち抜き数1,000shot(1,000回)あたりの電力消費量を管理する様にしていた。

しかし、統計を取っていく中で、必ずしも生産量と電力使用量が比例関係ではない事が判明したため、2008年5月に見直しを実施し、電力使用量で統計を取る様にした。

実績について、工場新設により電力使用量が多くなる事が懸念されたが、目標値をクリアしており、各社員にEA21活動が浸透している結果と判断できる。

(2) 灯油使用量

第39期は当初の予想通り、目標値を大きくクリアする事ができた。

第40期は更なる削減に向け努力したい。

(3) 廃棄物(可燃ごみ)排出量

38期同様、39期においても大きな削減効果が得られた。

地域の資源回収にも協力し、今後も削減に向けて努力して行きたい。

(4) 水道使用量

39期は下水道整備によるトイレ水洗化の影響で目標値をクリアする事ができなかった。

2008年5月に目標値を変更したが、この目標値が適正な値か今後注視して行きたい。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守する環境関連法規の遵守状況について、環境管理責任者の中島高広が中心となりチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認しました。また、関係機関からの指摘や周辺住民からの苦情等はなく、訴訟等もありませんでした。

以上